

科目名		授業形態		担当教員名	
身体障害評価法実習		実習		嘉納 綾・小田佳子・佐野広和	
時間数（単位数）		授業回数		年次	
60 時間（2 単位）		30 回		2 年次	
開講時期					
前期					
授業の目的・概要					
身体障害領域の作業療法評価場面で用いる各種検査・測定にはどのようなものがあるか知り、その方法を理解する。					
授業の到達目標					
1. 身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定を列挙できる。 4. ROMを正確に測定できる。 2. 身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定について説明できる。 5. MMTを正確に実施できる。 3. 身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定を実施できる。					
授業計画					
回	内容				
1	オリエンテーション 観察・面接について		16	MMT 下肢	
2	面接演習		17	MMT 下肢	
3	視診、触診、筋緊張		18	MMT 手指	
4	視診、触診、筋緊張		19	反射、姿勢反射、平衡機能	
5	ROM 上肢		20	反射、姿勢反射、平衡機能	
6	ROM 上肢		21	形態計測、感覚、脳神経	
7	ROM 下肢		22	形態計測、感覚、脳神経	
8	ROM 下肢		23	摂食、嚥下	
9	上肢機能、協調性、巧緻性		24	画像評価	
10	上肢機能、協調性、巧緻性		25	ADL、QOL	
11	意識、バイタルサイン、呼吸、循環、筋力、筋持久力		26	ADL、QOL	
12	意識、バイタルサイン、呼吸、循環、筋力、筋持久力		27	作業遂行（AMPS、COPM）、記録	
13	MMT 肩甲帯		28	作業遂行（AMPS、COPM）、記録	
14	MMT 上肢		29	ICF	
15	MMT 上肢		30	ICF	
成績の評価法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験	40%	身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定の理解度で評価する。			
レポート					
小テスト	10%	毎回の授業時に、前回の授業内容および今回の授業について小テストを行い評価する。			
平常点					
その他	50%	ROM実技試験、MMT実技試験で評価する。			
自由記載					
教科書					
書名	著者・編集者名		出版社名		
標準作業療法学 作業療法評価学 第2版	岩崎テル子 他編		医学書院		
作業療法学全書第3巻 作業療法評価学 改訂第3版	日本作業療法士協会 監修		協同医書		
新・徒手筋力検査法 原著第9版	津山直一 他訳		協同医書		
神経診察クロズアップ 改訂第2版	鈴木則宏 編		メジカルビュー		
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名		出版社名		
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第4版	川平和美 編		医学書院		
自由記載					
備考					
予習が講義参加の前提である。実技の際は、KCで参加すること。講義期間中に、ROM・MMTの実技試験を行う。					